

ロータリー財団委員会
委員長

福家 宏

(八尾中央RC)

日 時：2010年2月9日（火）午後4時～6時

場 所：ガバナー事務所会議室

出席者：井上暎夫RIロータリー財団学友コーディネーター、大谷透G、松本新太郎GE、岡部泰鑑GN、片山勉地区社会奉仕委員長、戸田和孝地区国際奉仕・WCS委員長、地区財団部門各委員長（福家宏財団委員長、大竹洋一郎財団情報・増進委員長、山口勝之財団人道的補助金委員長、山下勝弘財団奨学金・学友委員長、吉川邦英地区研究グループ交換委員長）、小林澄子次年度地区国際奉仕・WCS委員長、次年度地区財団部門委員長（百済洋一財団情報・増進委員長、五味千秋財団人道的補助金委員長、梅崎道夫財団奨学金・学友委員長、吉崎広江研究グループ交換委員長）

◎次年度委員長の皆様にはオブザーバーとしてご出席頂きました。

シェア・システム Share System ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF（地区財団活動資金）、50%がWF（国際財団活動資金）に配分され、地区/クラブはこれらの資金のすべてを様々なロータリー活動に利用することが出来ます。（従来これらには恒久基金利息の50%が加算されていましたが、2011-12年度分には加算はされません）このようなシステムをシェア・システムと呼びます。

DDFシェア会議 2011-12年度、地区に配分される（新規）DDFは2008-09年度の年次寄付の50%です。その金額はロータリー財団から毎年1月に通知されます。新規DDFに前年度（2010-11年度）DDFの繰越金を加えた合計金額が、2011-12年度に利用できるDDFということになります。2011-12年度にこのDDFを人道的分野、教育的分野、寄贈分野にどのように配分するか

を決定するための会議を地区Gと地区財団委員会が主催します。これがDDFシェア会議です。この会議は例年GEが国際協議会にご出席されたあと、PETSまでに開催されます。G、GE、GNにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂き、これに基づきDDFの配分につき協議し、決定を致します。

協議に先立って 司会：福家財団委員長

大谷G：D2830PG関場慶博氏のインドにおけるポリオ・ワクチン接種活動とともに、当地区の2億ドルのチャレンジへの取り組みが最高の成果を上げていることを紹介されました。そして寄付というものは、受ける者より与える者が祝福されているという考え方を述べられました。

松本GE：今年1月の国際協議会のご報告、次年度RI会長レイ・クリンギンスミス氏のRIテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」のご紹介、「未来の夢計画」「会長賞」「次年度の寄付」などについて述べられました。詳しい内容はPETSやG月信でのご報告を通してご理解下さい。

井上RIロータリー財団学友コーディネーター：2010年度RI規定審議会の立法案「ロータリー学友が正会員となることを認める件」を述べられ、当地区には全国に先駆けて財団学友が中心となって創立されたRC(大阪ネクストRC)がすでに存在しており、学友の活動が活発に行われていることを紹介されました。

次々年度のDDF配分 2008-09年度の年次寄付の50%は279,558.03ドル、恒久基金の利息の50%加算はなし、2010-11年度のDDFの繰越金（見込み）168,081.14ドルで合計447,639.17ドルとなります。これが2011-12年度の利用可能なDDFです。

DDF配分協議 2013年7月から実施される新補助金制度のもとでは剰余のDDFは次の年に繰り越されなくなるため、DDFを有効利用して

繰越金は漸減させることを考慮しつつ、次々年度のDDFを多く使い過ぎてしまうと、2012-13年度に利用可能なDDFが過少となる恐れがあり、財団部門の各委員長、国際奉仕・WCS委員長、社会奉仕委員長が意見を出し合い、調整しつつDDFの配分が慎重に協議されました。その結果は別表のバランスシートの通りとなりました。

協議終了に当たって

岡部GN：寄付金の利用の方法、DDFの適正配分というものは簡単ではないことを実感する。向後は松本GEとよくご相談しつつDDFシェアについても考えて行きたいと述べられました。寄付金の集め方については一案おありのようです。

平和フェローについて

大谷G および地区財団委員会より

今回お示しするバランスシート（表）では平和フェローシップへの寄贈が従来25,000ドルであったものがゼロとなっております。これは当地区から新しい平和フェローが輩出されていないことによるものです。どうぞ皆様平和フェローに相応しい人材をご推薦下さい。資格要件のハードルは確かに厳しくはありますが、どうぞよろしくお願い致します。新規フェローが承認されるなら、当地区は再び25,000ドルの寄付の復活について検討することになります。平和フェローについての詳しい情報は「ロータリー財団地域セミナーハンドブック」や、RIのホーム・ページをご参照下さい。

<http://www.rotary.org/JA/STUDENTSANDYOUTH/EDUCATIONALPROGRAMS/ROTARYCENTERSFORINTERNATIONALSTUDIES/Pages/ridefault.aspx>

D-2660 DDFバランスシート

2010年2月9日シェア会議 ロータリー財団委員会
単位：US \$

	2009-10年度予算	2010-11年度予算	2011-12年度予算
前年度DDF繰越額	432,312.24	274,441.17	168,081.14
TRF新規DDF配分額	278,607.93	307,639.97	279,558.03
DDF利用可能総額	710,920.17	582,081.14	447,639.17

配分・分野	2009-10年度予算		使用見込み		2010-11年度予算		使用見込み		2011-12年度予算		使用見込み	
<人道的分野>												
地区補助金	50,000		40,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
WCS MG	65,000		80,979		65,000		65,000		65,000		65,000	
<教育的分野>	奨学金@24,000				奨学生@25,000				奨学生@26,000			
国際親善奨学生	5名	120,000	8名	180,000	8名	200,000	7名	175,000	8名	208,000	8名	208,000
<プログラム強化>												
GSE語学研修	2,500		2,500		2,500		0		2,500		2,500	
追加GSEチーム・メンバー			2,000									
<寄贈分野>												
平和フェローシップ	25,000		25,000		25,000		25,000		0		0	
低所得国のための奨学金基金プール	10,000		10,000		0		0					
ポリオ・プラス	10,000		96,000		86,000		86,000		86,000		86,000	
追加GSE寄贈 (他地区への寄贈) 2010-2011年度 スリランカD3220へ	0		0		0		13,000					
分野別・配分総額	282,500		436,479		428,500		414,000		411,500		411,500	
次年度への繰越予定額	428,420.17		274,441.17		153,581.14		168,081.14		36,139.17		36,139.17	